

道徳教育

◎目標

本校の教育活動全体を通じて、道徳的な判断力、心情、実践意欲や態度などの道徳性を養う。

◎ 努力点

- 学級経営（学級づくり）の充実を図る。
- 人間尊重の精神を育てる。
- 基本的生活習慣の指導に力を入れる。
- 総合単元的な道徳の学習の中で道徳的心情を高める。
- 道徳の授業を充実させる。

◎ 道徳の時間の指導を充実させるための留意点

○子どもの姿をとらえる

- ・ 諸活動、休み時間等の子どもの実態をつかむ。
- ・ 日記や作文等から子どもの考えを知る。
- ・ 道徳の時間での子どもをつぶやきをとらえたり、表情を読み取ったりするようにつとめる。

○適切な資料を選択する

- ・ 多様な考えを引き出せる教材を与える。
- ・ ねらいとする価値が同じであれば、子どもの実態に合ったものを与えてもよい。

○指導方法を工夫する

- ・ 心情を養うのか、判断力をつけるのか、態度化を図るのかねらいを明確にする。
- ・ 中心場面や葛藤場面をしっかりと把握しておく。
- ・ 教材の提示の仕方や役割演技、動作化、ワークシートなど、発達段階を考慮しながら、指導の工夫につとめる。
- ・ 資料を通して、多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める。